

公益社団法人 乙訓青年会議所 2022年度 組織デザイン委員会 基本方針	
委員会方針：笑顔をデザイン	
委員長 富田達也	
課題背景	<p>現代はモノが溢れており、人々が求める価値はこれまでの供給側の都合によるモノ消費から、需要側がそのモノを使って何ができるのかというコト消費である体験や経験に価値を見出す時代へと移り変わりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で顔を合わせる機会が減少することで、組織の人間関係は希薄化しつつあり、効果的な組織の運動に影響を及ぼしている。</p> <p>今、社会情勢が急激に変化する時代だからこそ、人々が幸せを実感できる明るい社会を実現する「時代に先駆ける人財」を輩出し続けるとともに、より効果的な組織の運動を展開していく必要があります。</p>
設置目的	<p>我々は新たな価値を創造する幸せを導く組織として今まで以上に一致団結して運動するとともに、人々の様々なニーズに応えるイノベーションを創出し輝く未来をデザインできるデザイン思考を持った人財を育成する組織となることを目的とします。</p>
SDGsのゴール	<p>4【質の高い教育をみんなに】 4.4【働く技能を備えた若者と成人の割合を増やす】 次世代育成事業において、課題解決力の向上が仕事や起業のための技能につながります。</p> <p>8【働きがいも経済成長も】 8.3【開発重視型の政策を促進し、中小零細企業の設立や成長を奨励する】 生産活動の場で創造性やイノベーション能力の向上の一助となります。</p> <p>17【パートナーシップで目標を達成しよう】 17.17【効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する】 行政、市民諸団体、住民など、多岐にわたる人々とパートナーシップを組むことで、事業を大きく推し進めます。</p>
目指すべき状態	<p>1. 3月オープン例会の開催 メンバーや例会の参加者が、デザイン思考を理解し、新たな価値を創造し続ける状態。</p> <p>2. 3LOM合同交流会の開催 メンバーが様々な知見を深め、デザイン思考によって新たな価値の創造力が向上されている状態。</p> <p>3. 次世代育成事業の実施（年間5回・文化少年団事業） 次世代の子供たちがデザイン思考のプロセスを理解し、新たな価値の創造に取り組んでいる状態。</p> <p>4. 10月例会の開催 メンバーが出向に積極的に参加することで知見を深め、新たな価値の創造力が向上されている状態。</p> <p>5. LOMナイト・各種懇親会の設営・運営 メンバーが交流を深め団結することで、時代を先駆ける人財を輩出できる組織へと成長した状態。</p> <p>6. 会員拡大活動の実施 会員が増加することで、大きな運動を展開でき、時代を先駆ける人財を輩出できる組織として影響力が向上した状態。</p>
	<p>1. 3月オープン例会の開催</p>

<p>事業概要</p>	<p>メンバーや例会の参加者の新たな価値を創造する土壌を醸成するために、講演会を実施しデザイン思考を学ぶことで、新たな価値創造の機運を高めます。</p> <p>2. 3 L O M 合同交流会の開催 メンバーが多様な課題の本質を見抜く力を養うために、亀岡・船井の近隣 L O M と交流を行い、他組織を知り、多様な知見を深めることで、創造力の向上につなげます。</p> <p>3. 次世代育成事業の実施（年間 5 回・文化少年団事業） 子供たちが自ら考え、価値を創造できる輝く人財となるために、課題発見力、アイデア力、チャレンジ力を鍛える事業を 5 か月間に渡り実施することで、デザイン思考の定着につなげます。</p> <p>4. 1 0 月例会の開催 メンバーが出向へと踏み出す機運を醸成するために、価値観を広げ、課題の本質を見抜き、課題解決力を高める 1 0 月出向例会を開催することで、出向への意欲向上を図ります。</p> <p>5. L O M ナイト・各種懇親会の設営・運営 幸せを導く組織として団結するために、メンバー同士の親睦を深められるよう取り計らうことで、運動をより効果的なものへとつなげます。</p> <p>6. 会員拡大活動の実施 より大きな運動を起こすために、メンバーが一丸となって会員拡大活動を行うことで、幸せを導く組織としての影響力の向上につなげます。</p>
<p>委員会方針</p>	<p>今までやってきたことを同じようにしていれば成果が出る時代は終わりました。真の成果を得るためには地域をよく知り、自ら綿密に調べ、自ら深く考え、同士と切磋琢磨し、トライアンドエラーでより良いものを創り上げる。そのような乙訓青年会議所を本気で創り上げる！という想いを委員会メンバー全員で共有し、全員で苦楽をともにし、全員が一丸となって全力で事業に取り組み、最後にメンバーだけではなく関わった人々全員が笑顔になれるような委員会運営を行ってまいります。</p>
<p>委員会メンバー</p>	<p>委員長：富田達也 副委員長：村田朋紀 運営幹事：仮屋蘭毅 委員：田中炳穂、中谷洸太、畠山武士、山中拓哉</p>